

TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の活動状況

令和2年7月21日 7時時点

- 九州地方整備局を中心として全国の地方整備局等のTEC-FORCEを被災地に派遣
- 本日318人のTEC-FORCEが排水活動、被災状況調査、リエゾン・JETT(気象庁)による自治体支援を実施。
降雨時の排水に備え、排水ポンプ車50台(うち九州48台)を現地へ配備。
- 熊本県の要請に応じ、球磨村周辺を中心に、施設被害状況等を調査し、県の行う被害額算定や査定設計書作成等を支援。

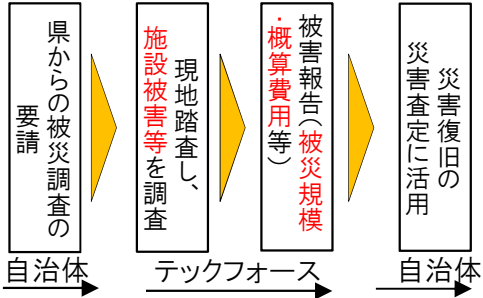
・派遣人数
のべ5,399人・日
・災害対策用機械
のべ1,828台・日

■熊本県内の被災状況調査の実施状況

のべ2,972人のテックフォースへ投入し、相良村、湯前町等で概ね調査が完了。7月20日までに河川・道路・砂防の1,171件の施設被害等のを報告。本日179名で調査を実施。今後、1週間を目途に完了予定。

■TEC-FORCEによる被災状況調査の流れ

■被害報告件数(7/20)



内容	河川	砂防	道路	合計
被害件数(熊本県)	210	66	895	1,171

自治体から被災調査の要請



7月9日 あさぎり町長からの調査要請
(熊本県あさぎり町)

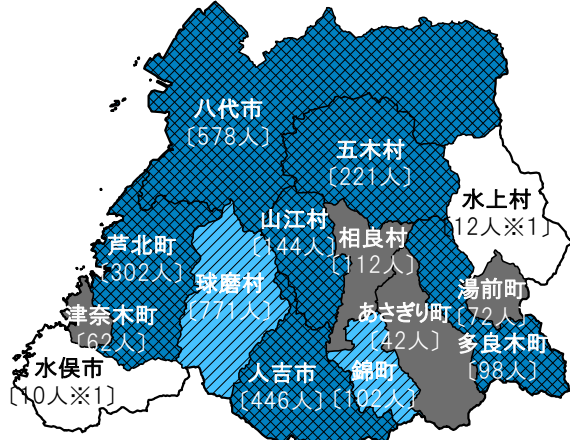
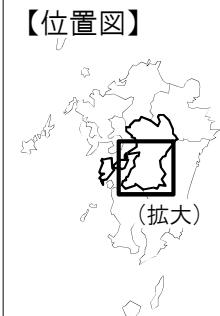
公共土木施設の被災状況調査



7月16日 被災した道路の現地調査
(熊本県球磨村)

■TEC-FORCEの現地派遣人数と進捗率

【位置図】



自治体からの要請に基づく実施割合。

<凡例>	
調査進捗8割以上	(Dark Blue)
調査進捗5割~8割	(Medium Blue)
調査進捗5割以下	(Light Blue)
調査完了	(Grey)
リエゾンのみ	(White)

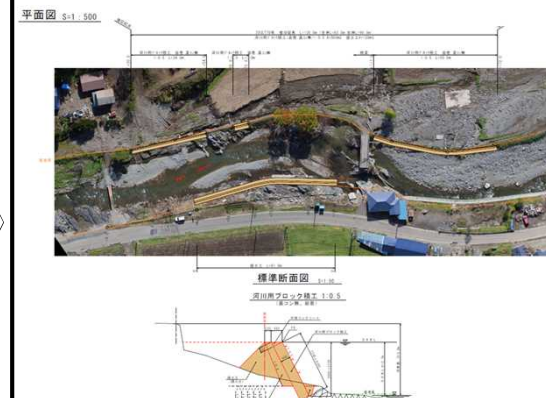
(7/20時点)

要請箇所内の被害報告



7月18日 調査結果を町長へ報告
(熊本県湯前町)

災害査定に活用



河川災の設計図書の事例

・〔 〕は、リエゾン及び被災状況調査班として派遣した人数(のべ人・日)。
・「※1」はリエゾンのみを派遣。
・これは速報であり、数値等は今後変わることがあります。